

2021年10月27日  
住友生命保険相互会社

## アフリカ開発銀行が発行する フィード・アフリカ・ボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、アフリカ開発銀行（African Development Bank）が発行するアフリカにおける食料増産を支援する、フィード・アフリカ・ボンド（以下「本債券」）への投資（約34億円）を決定しました。

アフリカ開発銀行グループは、域内加盟国の持続可能な経済成長と社会的発展に貢献するために設立された多国間開発金融機関です。その中核であるアフリカ開発銀行はアフリカ随一の開発金融機関としてアフリカ域内外合わせて81の加盟国から約2,610億ドルの出資を受け入れ、貧困の削減、生活水準の向上、アフリカの経済・社会開発のための資金調達に役割を担っています。

本債券の発行により調達された資金はアフリカ開発銀行の融資基準に基づき、「食料増産」（フィード・アフリカ）に関連するプロジェクトへの融資案件に活用されるよう最大限の努力が払われます。アフリカ開発銀行の「食料増産」戦略では、極度の貧困や飢餓をなくすこと、アフリカを食料の純輸出国にすること等の目標が掲げられています。具体的なプロジェクトの事例として、



©AfDB

ケニアにおける小規模灌漑施設の構築を支援しています。生産性と収入を高めることで貧困が削減されるほか、灌漑インフラと水資源の確保により食の安全性の強化等が期待されます。本プロジェクトの効果として、1,490ヘクタールの牧草地や放牧地が確保され、受益者は98,000人（うち女性が58%）に上ると見込まれます。

### 【本債券の概要】

発行体	アフリカ開発銀行 (African Development Bank)
投資金額	40百万豪ドル(約34億円)
期間	10年

## 【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本債券への投資はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

以上